

## 第3回懇話会における意見及び意見等に対する考え方

No.	分野	意見等	考え方	資料
1	水需要の状況	給水人口が減少する一方で給水戸数は増加している。核家族化が進んでいることを記載してはどうか。	世帯あたりの人員の推移を示しながら、核家族化の進展について記載する。	○資料2 P2（下線部）
2	目指すべき方向性	水道事業を市民に知ってもらい、支えてもらうための資料となるように見せ方を工夫してはどうか。	将来像や基本目標を見やすくするとともに、基本目標を実現するための取り組みを一覧にする。	○資料2 P24～25
3	目指すべき方向性	市民（お客さま）に考えていただきたいこと、一緒に取り組む事項を示してはどうか。	今後の事業展開においては、利用者や民間企業、他の水道事業体などとの連携を重視する視点を追加する。	○資料2 P25
4	全般	SDGs（持続可能な開発目標）に対する水道事業の考え方、視点について検討すべき。	本市水道事業の取り組みとSDGsとの関係を記載する。	○資料2 P26
5	実現方策	取り組みに対する数値目標を設けてはどうか。	各取り組みに対し、10年後の目標値、計画期間中の大まかなスケジュール及び想定事業費を追加する。	○資料2 P27～
6	経営状況	供給単価と給水原価で見ると利益が出ているように見えるが、今後の更新費用やキャッシュフローなどを見ると厳しい状況であることをどう表現するか検討すべき。	経営戦略で今後の収支計画の見通しを示す。	○資料2 P32～（第6章）